

八女市平和の旅

8月5日・6日の2日間、八女市平和の旅が実施され、本校から2年生のNさんが参加しました。

1日目は平和記念館などの見学。2日目は平和記念式典に参加しました。式典の最中は雨に降られて大変だったようですが、この2日間は貴重な体験になったことでしょう。学んだ内容については、全校生徒に伝える場面を設けたいと思います。



8月5日、出発の様子

暴力団対応教室

8月26日、福岡県警本部と八女警察署のご協力で、暴力団対応教室を行いました。県内の指定暴力団の現状や中高校生を狙う手口、薬物やSNS被害と暴力団との関係について実際のケースを元にお話しいただきました。この教室は毎年実施しています。犯罪や暴力団から自分の身を守るという意識をしっかりと持ち続けて欲しいと願っています。



全国学力・学習状況調査結果

4月18日に3年生に対して行われた全国学力・学習状況調査の結果が出ましたのでお知らせします。

○各教科の結果

国語と数学では、県、全国平均ともに上回りました。英語は県平均を上回り、全国平均と同

じでした。英語(話すこと)では、残念ながら全国平均を下回りました。今後の課題として取り組みます。

○生徒質問紙からわかること

質問に対して「そう思う」と答えた生徒の割合が、県や全国に比べて高かった質問項目。
・家の人と学校の出来事について話をする。
・自分にはよい所がある。
・ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。
・いじめはどんな理由があってもいけないことだ。
「そう思う」と答えた生徒の割合が県や全国平均より低かった質問項目。
・難しいことでも失敗を恐れず挑戦している。
・将来の夢や目標を持っていく。
・学校に行くのは楽しい。(「だいたいそう思う」と合わせる)、県や全国の平均を上回ります)

特に「そう思う」と答えた生徒の割合が低かった項目に関しては、様々な活動の場面やキャリア教育等を通じて、生徒の主体性と未来を切り拓く力を育んでいきたいと思えます。

ピリギヤルから学んだこと

さて、生徒の皆さん。この本が西中の図書館にあるのをご存じでしょうか？

実際に手に取り、読んでことがある生徒も多いと思いますが、内容を簡単に説明すると、ある高校で学年ピリだった女子生徒が塾の先生との出会いを通して、1年間で成績をぐんぐん伸ばし有名大学に合格したという実際にあった話です。

なぜ突然この本の紹介をした



坪田信貴 著 KADIKAWA 文庫

かという、別に塾に行くことを勧められているわけではありません。8月の終わりに佐賀県で開かれた研修会に参加した際、その研修会で講演をされたのが、この本の作者の坪田さんでした。いろんな話を聞き、なるほどと思うことが多かったのですが、中でも印象に残った言葉を紹介します。きつとみなさんのこれからに役立つ言葉だと思えます。

○過去や現在はどうでもいい。未来の自分がどうありたいかを考える。

あなた自身やまわりの大人も過去のあなたや現在の様子から「これくらいだったら出来るだろう」と知らない間にあなたの「枠」を作っているそうです。そんな「枠」を頭からはずして、未来の自分がどうありたいか(心がワクワクする目標)を考え、そこに向かう事が大切だそうです。

○メンタルが9割。出来ないと思うとどんどん出来なくなる。

マイナス思考からプラス思考へ。トレーニングでメンタルは変えられる。そのためには自分を理解することが大切だそうです。

○やれば伸びる

私たちはよく「やれば出来る」と言います。しかし、私(信國)が今から練習してもプロ野球選手にはなれません。「やれば出来る」ではないのです。でも練習で体力は付き、今よりは野球がうまくなるはずですよ。「やれば伸びる」という意識が大切だそうです。1日1%伸びれば、1年で今の力の38倍の力になる。

どうですか？あなたはあなた自身で自分の限界を決めていますか。あなたのワクワクする未来を考えて見ませんか？